

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和元年度 第1回入間市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和元年6月7日(金)午後1時30分開会 午後3時00分閉会
開 催 場 所	入間市役所 C棟4階 入札室
議 長 氏 名	齋木 茂 (代理)
出席委員(者)氏名	奥泉 徹 町田邦弘 森山治代 齋木 茂 根岸 桜 小暮欽作 西村めぐみ 村野裕子 野田あさ子 青木和子 幸森康夫 田辺晁己
欠席委員(者)氏名	中田一平 山畑雅浩 栗原桂一
説明者の職氏名	片寄社会教育課長 関谷社会教育課主幹
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(社会教育委員会議 すべて公開) I 委嘱状交付式 1 開 会 2 委嘱状の交付(教育長) 3 教育長あいさつ 4 社会教育委員自己紹介 5 事務局自己紹介 6 閉 会 II 社会教育委員会議 1 開 会 2 議長あいさつ 3 協議事項 (1) 各種協議会等委員の選出について (2) 各委員会からの報告について (3) 社会教育団体補助金について (4) その他 4 教育部社会教育担当各課からの報告 5 その他 今後の会議日程について 6 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	西澤教育長、新見教育部長、関谷教育部次長 石川博物館副館長、佐藤図書館長、吉川中央公民館長、 片寄社会教育課長、関谷社会教育課主幹、坂本社会教育課主事、 村田社会教育指導員

会議録(2)

議事の概要(経過)・決定事項

1 教育長より、社会教育委員委嘱状を委員15名へ交付した。

奥 泉 徹 委員
町 田 邦 弘 委員
森 山 治 代 委員
齋 木 茂 委員
根 岸 桜 委員
小 暮 欽 作 委員
西 村 めぐみ 委員
村 野 裕 子 委員
野 田 あさ子 委員
青 木 和 子 委員
幸 森 康 夫 委員
田 辺 暁 己 委員
中 田 一 平 委員 (本日欠席のため、後日送付)
山 畑 雅 浩 委員 (本日欠席のため、後日送付)
栗 原 桂 一 委員 (本日欠席のため、後日送付)

2 協議事項

- (1) 各種協議会委員等の選出について
- (2) 各委員からの報告について
- (3) 社会教育団体補助金について

3 報告事項

(1) 社会教育課

- ① 令和2年の成人式について 片寄社会教育課長説明。

開催要項

開催日 令和2年1月13日(月・成人の日)

社会教育委員は受付の手伝いをお願いしたい。正式な案内は後日送らせていただくのでよろしく願います。

- ② 社会教育事業の主要行事予定表について 片寄社会教育課長説明。

- ③ 配付資料 片寄社会教育課長説明。

「入間市の教育」

「教育広報いるま」

「入間市生涯学習茶の都出前講座」

「入間地区社会教育広報さわらび」

「広報 人権教育」

- (2) 入間市博物館配付資料について 石川副館長説明。

「ALIT お茶大学」受講生募集パンフレット

「入間市西洋館の日2019」チラシ

入間市博物館紀要

議事の概要（経過）・決定事項

(3) 図書館配付資料について
図書館だより4月号

佐藤図書館長説明。

(4) 中央公民館配付資料について
入間市美術展
入間市写真美術展
入間書人展
入間市民吹奏楽団定期演奏会
音楽家協会サマーコンサート
吟剣詩舞道大会
キッズ・アート・ギャラリー

吉川中央公民館長説明。

4 その他

関東甲信越社会教育研究大会 令和元年11月7日（木）～8日（金）於 ウェスタ川越
次回の会議日程について

第2回 令和元年9月27日（金）午前10時より 市役所C棟5階 501会議室

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
齋木副議長	<p>(1) 各種協議会等委員の選出について 事務局より提案があり前任者が継続して委員を務めることに決定した。</p> <p>(2) 各委員からの報告 本日の資料14頁「社会教育事業に関する各委員からのご意見」にあるように、 (1) 社会教育事業について (2) 社会教育施設について (3) 社会教育活動の報告についての中から選び報告をお願いしたい。</p>
小 暮 委 員	<p>体育協会について報告。各10地区に体育協会があり27の競技団体が所属している。今月16日少年ソフトボール大会及び婦人バレーボール大会が計画されている。その他、万燈まつりに参加。各種競技会、教室を開催。彩の森クロスカントリー大会、入間市駅伝大会の運営、姉妹都市佐渡とのスポーツ交流を行っている。</p> <p>博物館の「市民の力を借りて運営をしていきたい」という理念に従い博物館ボランティアとして活動し現在50人程度である。各組織では継続して活動しているが、博物館ボランティア団体全体として、男性会員が非常に少なく高齢化してしまい会長・副会長・書記不在で行っている。老人クラブも同じ状況と聞いている。後継者不足が問題である。自身の活動としては、市内の小学3年生に指導している。</p>
田 辺 委 員	<p>平成29年度に幼児教育の指針となる幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育容量の3法令が改正された。3法令が同時に改定されるのは初めてである。ねらいは教育の質の向上である。カリキュラムマネジメントが大切になってきている。本園では体験活動を重視している。具体的には玉葱掘り体験、サツマイモ掘りなど農園を活用して実体験から子どもに成就感を味わわせている。また、本年度から幼稚園評価を取り入れた。</p>
幸 森 委 員	<p>「生涯学習をすすめる市民の会」としては、街の誰もが先生で誰もが生徒という『まちの先生』という事業を行い浸透しつつあると感じている。しかし昨年長野県上田市を訪問し、同様の事業が1千万円規模の事業として運営されていて驚いた。多くの先生がいて、多くの事業が行われていて多くの生徒もいる。経済効果もあるように考えられる。教えたらお金が入ってくるという仕組みにして後継者問題を考えてもいいのではないかと。今ある団体の後継者問題を考えるよりも、新しい意見を取り入れながら新しい団体を立ち上げて行くのはどうか。ニーズはあるのではないかと。</p>
青 木 委 員	<p>「入間市の文化遺産をいかす会」を8年前に立ち上げ特に黒須地区に残っている歴史的文化的に価値のある西洋館や黒須銀行などを中心に活動している。小学生の見学もある。市博物館を通して入間市西洋館が公開されるようになり、そこで活動している。見学ができるようになり、市内外の見学者も増えている、リピーターも増えているまたテレビ撮影もあった。市の財政も厳しい中ではあるが、こうした入間市西洋館や黒須銀行など補修をしながら大切にしていかなければならないと、会としても今後について話し合っている。</p>
野 田 委 員	<p>「あそびアートこども劇場いるま」では子どもたちに人には色々な生き方があるのだよと話している。今年は市民協働型提案事業でLGBTについて学ぶ計画をしている。中学生向けの講座であったが小学校3校中学校1校から、先生方の研修会として活用できないかとの問い合わせが来ている。現在、外国籍のこどもや発達障害のこどもなど多様なこどもたちがいる中で、大人も正しい知識と理解をしていくこと</p>

発言者	発言内容
村野委員	<p>を考えている。社会教育事業として関わっているのは「ドラマフェスタ入間」がある。市民ミュージカルでは学校や地域を超えて子どもたちが子ども同士だけではなく大人との関わりもできていることは大変に良いことである。</p> <p>入間市では多くの演劇や音楽などの文化活動を行っているが、足を運ぶ人は少なく感じる。関心・理解を高める工夫が必要と感じる。</p> <p>親子を支援しながら子育て環境が少しでも良くなるように活動している。今年はパパと子どもたちが遊ぶ講座を考えている。「こども食堂ネットワーク」では今年も継続とそのあり方を考えたい。大人も参加しての活動ながら「子どもの方をみているのかな」と感じるところがある。「子どもの居場所としてどういう所がいいのか？」を考える1年にしたい。昨年、文科省の事業でドイツに2週間行かせていただき子どもの居場所について学んできた。今年もまた勉強しに行くことができるようになった。</p>
西村委員	<p>青少年活動センターという施設を市が持っていることはとても素晴らしいことであるが、そこでは「子どもの方を向けるスタッフ」がいることがとても大切である。</p> <p>図書館の評議員を長くやらせていただいている。指定管理になる時に心配したが特にトラブルになったとは聞いていない。ボランティアの高齢化は問題である。学校の図書ボランティアは、お子さんが卒業するとやめてしまうのが残念である。</p> <p>市内に住んでいると様々な施設と関わりながら生活している。それぞれの施設は一生懸命運営をされているが、施設同士の横のつながりが弱いのではないかな。もっと協力してもいいのではないかな。男性ももっとこのような活動に出てきてほしい。</p>
根岸委員	<p>子ども会では、前年に比べ今年300人会員数が減っている。6年生が卒業すると小さいお子さんがいないので入って来ない。多様化が進み興味がある習い事などに向かい子ども会に入って来ない。市子連では中高生向けに「ゴリラの勉強会」を実施し3年目。今年は夏休みと冬休みに「子ザルの勉強会」として小学生向けに、夏休みの宿題をやったり、書初めをやったりして、その後一緒に食事をするという活動をする予定である。青少年活動センターを利用しているが、場所が不便であり市内循環バスなどが走らせてほしい。</p>
森山委員	<p>音楽家協会ではスプリングコンサートを毎年行っている。昨年から2回公演にしたが好評で満席である。役員の高齢化の問題は同じであるが今年から次世代の方に譲ることができた。市民の文化的レベルを少しでも上げられるようにがんばってきた。上田市で活動する機会をいただき、市の教育委員会関係であろうが、小中学校3校を1週間毎日回り演奏活動をおこなった。大規模校から小規模校、特別支援学校も回った。このように上田市として市民に音楽を提供している。今年も佐久市とも同様の4年契約をした。入間市も予算化をしてほしい。</p>
町田委員	<p>入間市の隠れた音楽家の名簿作りをしたい。入間市の文化的なレベルをあげられるような人たちとコミュニケーションを図りたい。お手伝いを願えないか。</p> <p>子どもたちにとって社会教育は不可欠である。一番馴染みが深いのが博物館か。その他の団体とも連携していかなければならない。教員が教えるだけではカバーできないことがらをふだん話を聞く事もない方から子どもたちが話を聞けることはとても大切なことである。先日博物館を訪れたが、その時には豊岡中学校の生徒が来館して学んでいた。博物館が学校と連携して行っている大切なことである。</p>

発言者	発言内容
奥泉委員	<p>博物館ではコンサートも行われている。このように博物館では素晴らしい活動を行っているが、リピーターを増やす努力をしてはどうか。上野の科学博物館などは参考にならないか。</p> <p>博物館の庭の雑草が気になった。初めて訪れる人には気になるのではないか。公民館・図書館・博物館では小学校と連携した活動も創意工夫をしながら行ってくれている。特に夏期・冬期の子どもの居場所づくりや観望会・観察会をはじめとして、それぞれの社会教育施設で各種の体験活動を計画し行ってくれている。ふだん学校ではカバーできない内容を補完してくれるような内容であり大変感謝している。子どもの育ちに大変有意義である。今後もニーズを掘り起こし、ぜひ継続して行ってほしい。学校教育と社会教育は教育の両輪であるという教育長の言葉のとおり、今後も連携して進めていきたい。</p>
齋木副議長	これで、協議（２）については終わりとする。
齋木副議長	<p>（３）社会教育団体補助金について</p> <p>補助金について、事務局説明をお願いします。</p>
関谷主幹	資料１５頁をご覧ください。これは平成３０年度と令和元年度の社会教育団体補助金申請額の一覧表である。これは社会教育法第１３条に則りここに示している。
齋木副議長	ただいまの説明に対し何か質問はあるか。
幸森委員 片寄課長	<p>団体によって補助金にばらつきがあるのはなぜか。</p> <p>補助金には積算根拠がある。例えば市PTA連合会では、各単位PTAに家庭教育学級の実施など行うため各校に３６，０００円など、実施についての積算根拠に従って補助金を決めている。一時期一律５％削減の時期があり端数が出ている。実績に基づいて補助金を支出している。また、余った時には市に返還することになっている。</p>
齋木副議長	質問意見が無いようであり、これで議事を終了する。
<p>議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和元年 6月17日</p> <p>議長の署名 齋木 茂</p>	